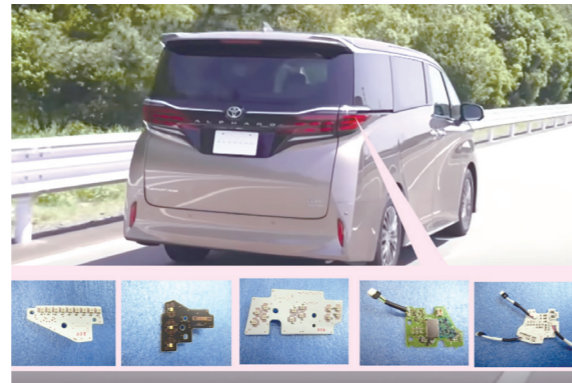


車のライトをつけるために欠かせない部品を、基板にのせる仕事

実装機マシンオペレーター



半導体の部品を基板にのせることを「実装」といいます。部品の中には、手でつかめないほど小さいものもたくさんあります。それを基板の上に正しく配置するために、専用の機械を使います。その機械を動かすのが、実装機マシンオペレーターの仕事です。半導体は様々な電気製品に使われていますが、わたしたちがつくっているのは、自動車のLED基板です。世界中を走る車に、わたしたちがつくった基板が使われています。



このお仕事に ついた きっかけ

「自動車に関わる仕事がしたい」と思い、入社しました。仕事を覚えて、動かせる機械が増えるのが楽しいです。まちを走る車に自分がつくった製品がのっていると、やりがいを感じます。

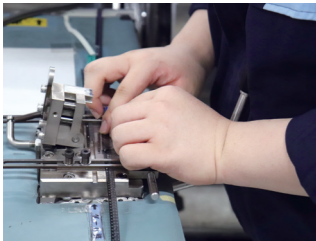
実装機マシンオペレーターってどんなお仕事をしているの？

実装機に部品をセットする



生産する基板のモデルに合わせて、必要な部品を実装機にセットします。部品は、カセットとよばれるケースに入っています。100個以上の部品をのせる基板もあります。

部品をほじゅうする



部品がなくなりそうになったら、新しい部品が入っているシートをつなぎ合わせてカセットに入れます。部品が完全に空になる前につぎ足すのが、効率アップのコツです。

マシンプログラムをセットする



部品を基板にのせるためのプログラムを設定します。850種類以上の基板があるので、これからつくる基板の部品とプログラムが合っていることをしっかりと確認します。

次の生産の用意をする



一つのモデルの生産が終わる前に、次につくる基板と部品を用意します。工場は24時間動いていて、多い時は一日に10種類の基板を生産することもあります。

こんな人も
働いて
います！

■ 製造ラインスタッフ ■ 設計 ■ プログラマー ■ 技術 ■ 品質保証 ■ 調達 ■ 総務

この会社に教えてもらったよ！

東北で唯一！自動車用LEDライトの基板をつくる会社

株式会社小滝電機製作所

大館市釈迦内字上袋6-6 TEL/0186-59-7131

創業/1980年1月 従業員数/270名

事務所/静岡事務所

Glocal innovation corporation

OTAKI



会社見学
OK

出張授業
OK

株式会社小滝電機製作所はこんな仕事をしています

▶ 部品の発注

生産するために必要な基板や部品を発注します。お客様に製品をとどける日が決まっているので、その日に間に合うように予定を立てて仕入れます。



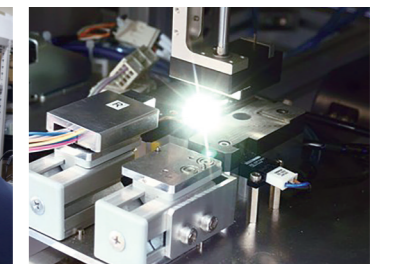
▶ 製造

基板とコードなどをはんだ付けで接着し、一つの製品をつくります。LEDがきちんと光るかどうかの検査もします。はんだ付けの機械は自社のオリジナルです。



▶ 技術

製造スタッフが使う機械を、一からつくります。どのような設計が必要なのかを考えて設計し、組み立て、プログラムを組みます。トラブルが起きたらすぐ止まるように、安全対策ももちろんおこないます。



☑ CHECK! 技能実習生も活躍しています

海外からの技能実習生もたくさん活躍しています。県内各地に一緒に行き、日本や秋田の文化にふれる機会をつくっています。また、環境にやさしい取り組みとして、再生可能エネルギー100%の電力プランを使用しています。社用車にはハイブリッド車を導入しています。

